

第15回日本司法精神医学会大会 一般演題スケジュール

第2日目 6月8日(土)

一般演題 2 E (9:00~10:15) 第2会場(プランエール) 医療観察法・入院Ⅱ			
2 E - 1	独立行政法人国立病院機構榊原病院	高野 真弘	医療観察法入院医療における複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究(7) 入院長期群の特徴と分類
2 E - 2	独立行政法人国立病院機構榊原病院	壁屋 康洋	医療観察法入院医療における複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究(8) 長期入院群と標準退院群の判別
2 E - 3	独立行政法人国立病院機構小諸高原病院	村杉 謙次	多様で複雑な事例の個別調査及び治療・処遇に関する研究 第1報
2 E - 4	国立精神・神経医療研究センター	河野 稔明	医療観察法入院処遇期間の適切な指標の探索—転院例寄与の施設間配分方法に着目して—
2 E - 5	独立行政法人国立病院機構前精神医療センター	三宅 康裕	介入研究：統合失調圏の対象者におけるNEAR前後の脳機能画像解析

一般演題 2 F (10:30~11:30) 第2会場(プランエール) リスクアセスメント			
2 F - 1	千葉大学社会精神保健教育研究センター	東本 愛香	司法精神保健におけるリスク・アセスメントの普及への取り組み
2 F - 2	社会精神保健教育研究センター	西中 宏史	更生保護施設における出所受刑者の問題行動に関わるリスク要因と保護要因—リスクアセスメント・ツールの活用—
2 F - 3	国立精神・神経医療研究センター	柏木 宏子	暴力の保護要因(SAPROF)をインタビューする意義—ストレングスに着目した、当事者参加型のアセスメント法の開発—
2 F - 4	島根県立こころの医療センター	高尾 碧	ケースフォーミュレーションを軸に患者対応能力向上について考える—実践報告

一般演題 3 F (10:00~11:00) 第3会場(カトレア) 高齢者の責任能力			
3 F - 1	科学警察研究所	渡邊 和美	高齢者の体験記憶は誘導されやすいのか
3 F - 2	千葉県精神保健福祉センター	林 偉明	高齢者による殺人事件の鑑定事例から浮かび上がった問題点
3 F - 3	社会医療法人財団松原愛育会松原病院	松原 三郎	訴訟能力が問題となった認知症高齢者の2例
3 F - 4	慶應義塾大学医学部精神神経科	村松 太郎	前頭側頭型認知症の責任能力をめぐる—考察

一般演題 3 G (11:00~12:00) 第3会場(カトレア) 医療観察法・通院			
3 G - 1	社会医療法人財団松原愛育会松原病院	中村 美智代	通院医療機関が審判期日に出席する効果について検討する
3 G - 2	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所	菊池 安希子	精神保健観察から一般精神科医療への移行パターンの研究
3 G - 3	養心会 国分病院	川崎 理恵	セルフモニタリングシートを活用した定点観察的関り—医療観察法入院処遇を経て通院に移行したケース—
3 G - 4	長崎県精神医療センター	瀬戸 秀文	医療観察法対象者への支援に際して、関係者の被害者としての側面に特段の留意を要した一例について